第１号の４の２様式（第12条の２の２関係）（昭62運令５・追加、平元運令24・平６運令12・平９運令86・平16国交令93・平18国交令102・平18国交令108・令元国交令20・令２国交令98・一部改正）

事前処理確認申請書

年　　月　　日

収入印紙

殿

氏名又は名称及び住所並びに法人にあつてはその代表者の氏名及び住所

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律施行規則第12条の２の２第１項の規定により、次のとおり申請します。

船舶の概要	船舶番号			船名	
	総トン数			航行区域	
	国籍				
事前処理の概要	有体物質	名称			
		性状			
	液質	積込地		取卸地	
	貨物艙の数			識別記号	
	事前処理の方法				
	実施日時				
	実施場所				
	洗浄方法				
	洗浄水の処分の予定				
当該貨物艙に初めて加えた水の処分の予定					
参考事項					

備考　1　用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とすること。

2　申請者の氏名又は名称及び住所並びに船名には、ふりがなを付すること。

3　有害液体物質の性状は、その融点及び取卸しの際の温度並びに温度20度における粘度が50ミリパスカル秒以上であるか否かの別を記載すること。

4　事前処理の方法は、濃度測定方法（令別表第1の6第1号ロ(1)に掲げる要件に適合する方法をいう。）であるか、予備洗浄方法（同号ロ(2)に掲げる要件に適合する方法をいう。）であるかを記載すること。

5　洗浄方法は、各貨物艙の洗浄順序、洗浄時間及び洗浄水使用量を記載すること。

6　参考事項は、洗浄剤の使用の有無等事前処理の確認に参考となる事項を記載すること。